

# 明日に向かって

## ともに創る

79

大船渡市長 戸田公明

### 総合公園構想と被災地の利活用について

約30年前に基本計画が策定された、400mトラック・サッカー場、野球場、総合体育館、テニスコート、公園などからなる総合公園計画（建設地は長洞仮設住宅団地周辺）がありましたが、永年の間実現の目途が立たなかったことから、平成29年5月15日開催の市議会全員協議会に諮られ計画の代替案を検討することになりました。

市民の皆様は、新聞報道・市広報などを通じてご存じのことと思います。

永年の間、実現の目途が立たなかった理由は、特に以下の2点があげられます。

- ・震災前、県の永浜山口港灣整備事業用土として掘削・運搬するも、総合公園に必要な平場の確保に至っていない。土砂搬出残量は約30万立米残っているものの、永浜山口工業用地の埋め立てが終了したことから行き先がない。

- ・約20年前の基本設計時点での施設整備費用は100億円超、今ではさらに多額の費用が想定されるも、国の補助制度も

無く市単独では財政負担が重過ぎ困難であること。

市議会全員協議会では、今後は、被災地を利活用したスポーツ施設建設の検討、既存スポーツ施設の機能向上、2市1町間での相互利用などを検討しながら、市が代替案を示すこととなりました。

このような状況下、赤崎地区の皆様から中赤崎地区をスポーツ交流ゾーンとする要望が寄せられ、野球協会様からは現市営球場は築50年経過し老朽化したことと駐車場が少ないことから被災跡地への新市営球場建設の要望が寄せられました。

市では、これらの要望を踏まえ、スポーツ施設を計画的に整備していくため、赤崎地区において、野球場を中心とするスポーツ施設等整備の実現に向け、次のとおり取り組んでいます。

- ・スポーツ施設などについて、具体的な規格や事業費、財源確保などの庁内検討を進めています。

- ・野球場については、赤崎地区の土地利用計画において、ス

ポーツ交流ゾーン検討区域の中心施設として位置付ける方向で地域の方々とは協議しています。

- ・体育館、テニスコートについては、既存施設を充実させる方向で検討しています。

- ・400mトラックについては、県が陸前高田市に整備予定の施設の利用促進を図る方向で検討しています。

なお、赤崎地区において野球場を中心とするスポーツ施設などを実現するには、市議会の同意のもと、次の3点が必要となります。

- ・当該地区の土地利用計画を早期に策定すること。
- ・事業用地の確保にあたり、予定区域内における民有地の地権者の方々から用地買収などの了承を得ること。

- ・現在、新県道整備のために仮置きされている中赤崎地区の土砂が、予定どおり岩手県により使用され、なくなることで復興創生期間も残すところ2年半という終盤を迎えた中、スポーツ施設などの実現に向けた検討と併行しながら、これらの課題を解決するための取り組みを鋭意進めていきたいと考えておりますので、関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 平成30年度明治大学連携事業

## 国際理解講演会を開催します！

2019年ラグビーワールドカップ釜石大会の開催や2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「復興『ありがとう』ホストタウン」事業などにより、本市でも国際交流の機会がますます増加すると見込まれます。

そこで、市では、外国文化などへの理解を深め、今後、大船渡を訪れる外国人との交流に生かしていただくことを目的として、本講演会を開催します。

講師には、25年前にカナダから来日し、現在、明治大学商学部専任教授として、現代イギリス文学や英語を指導するジェームズ・アンドリュース・スタンレー氏をお招きし、日本と海外文化の違いや、ジェームズ氏から見た日本文化や社会の特徴などについて、ご自身の体験を交

えながら講演いただきます。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

▷日時＝9月30日(日)午後1時30分～3時30分  
(午後1時開場)

▷会場＝カメラアホール多目的ホール

▷講師  
ジェームズ・アンドリュース・スタンレーさん(明治大学商学部専任教授)

▷演題＝「カナダ人教授が見た日本人と日本社会」(予定)

▷参加料＝無料

▷申込先/問い合わせ先

中央公民館(☎263166/☎265903)

